

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 1 区分
【発行日】平成 17 年 10 月 6 日 (2005.10.6)

【公開番号】特開 2004-14165 (P2004-14165A)
【公開日】平成 16 年 1 月 15 日 (2004.1.15)
【年通号数】公開・登録公報 2004-002
【出願番号】特願 2002-162549 (P2002-162549)
【国際特許分類第 7 版】

H 0 5 G 1/32

H 0 5 G 1/20

【F I】

H 0 5 G 1/32 P

H 0 5 G 1/20

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 5 月 24 日 (2005.5.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

直流電源と、半導体スイッチングデバイスを有し上記直流電源に接続されて直流電圧を交流電圧に変換するインバータ回路と、このインバータ回路の出力側と一次巻線が接続された高電圧変圧器と、この高電圧変圧器の二次巻線側と入力側が接続された高電圧整流器と、この高電圧整流器の出力側と接続される X 線管と、この X 線管に接続されその管電圧を検出する管電圧検出器と、この管電圧検出器による検出値を目標値と比較して上記インバータ回路の各半導体スイッチングデバイスに位相シフト P W M 信号を与える管電圧フィードバック制御回路とを備えたインバータ式 X 線高電圧装置において、上記インバータ回路の出力側に上記インバータ回路の出力電圧が正負非対称であることを検出する正負非対称検出器と、少なくともこの正負非対称検出器による検出があったとき上記インバータ回路の出力電圧が正負対称となるように上記位相シフト P W M 信号に補正を与える補正手段と、を備えたことを特徴とするインバータ式 X 線高電圧装置。

【請求項 2】

前記補正手段は、前記インバータ回路を形成する半導体スイッチングデバイスの時比率を前記インバータ回路の出力電流における平均の偏りに応じて変化させることを特徴とする請求項 1 に記載のインバータ式 X 線高電圧装置。